

能楽研究所彙報(二〇一四年四月～二〇一五年三月)

野上記念法政大学 能楽研究所

(出版者 / Publisher)

法政大学能楽研究所 / The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

能楽研究 / 能楽研究

(巻 / Volume)

40

(開始ページ / Start Page)

233

(終了ページ / End Page)

256

(発行年 / Year)

2016-03-31

能 楽 研 究 所 彙 報 (二〇一四年四月～二〇一五年三月)

〔紀要「能楽研究」第三十九号の発行〕

2015年3月31日付で、研究所紀要「能楽研究」第39号を発行した。A5版142頁。内容は次の通り。

面打ホウライ考

写楽斎藤十郎兵衛の家系と活動記録

研究展望(平成23年)

宮本 圭造

表 章

宮本 圭造

高橋 悠介

江口 文恵

表 きよし

石井 倫子

山中 玲子

中司由起子

伊海 孝充

竹内 晶子

能楽研究所彙報(平成25年度)

「キリシタン能」再考―イエズス会日本報告の原本から―

パトリック・シユウエマー

〔第三十六回観世寿夫記念法政大学能楽賞〕

第三十六回観世寿夫記念法政大学能楽賞の受賞者に、2014年12月2日(火)に開かれた選考委員会(委員は、松本雍・みなもとごろう・西野春雄・観世鏡之丞・増田正人〔法政大学国際学術支援本部担当常務理事〕・廣瀬克哉〔法政大学法人本部担当常務理事〕・山中玲子・宮本圭造の推薦に基づいて森常好氏と高橋悠介氏の2名が選ばれ、12月7日付で田中優子総長名義の通知を各方面に発送した。贈呈理由と受賞者の経歴は次の通りである。

〔受賞者〕 森 常好(もり つねよし)氏

〔贈呈理由〕 能楽協方として研鑽を積んだ氏は、天性の美声と柔らかな節扱いに加え現代演劇など他ジャンルからも多くを吸収し、独自の演劇的センスと安定した芸によって、当代の能に欠かすことのできない存在となっている。2013年〈檀風〉で40年ぶりの秘曲をみごとに演じ、多くの観客を魅了したことも記憶に新しい。

〔主な経歴〕 宝生流協方。1955年12月5日、森茂好(人

間国宝)の長男として東京都に生まれる。父に師事。

1963年、7歳のときに〈岩舟〉で初舞台。十代の頃は稽古が嫌いで逃げていたが、舞台は好きで、名人上手の能にワキツレとして座り、直に伝わってくるエネルギーを感じることに「修行」になったという。都立新宿高校在学中、能とは無縁のアルバイトを多く経験するうち、どの世界にもプロの仕事というものが自分にとってはそれが能の舞台だと気づき、自ら真剣に稽古を重ねるようになった。1982年〈道成寺〉、翌1983年に〈張良〉を抜き、以来、1994年〈卒都婆小町〉、2000年〈谷行〉、2001年〈娘捨〉、2013年〈檀風〉等、協方の重い習いの曲を次々と抜く。1998年には芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2000年に起ち上げた能楽伝承プロジェクト「花の会」は能の魅力を伝え正しく継承していく企画として、現在まで15回を重ねている。海外公演や復曲・新作等への参加も多く、現代の能界を支える重要な柱として活躍している。趣味は読書、芝居や映画の鑑賞。重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽会会員。公益社団法人能楽協会理事。

〔受賞者〕 高橋 悠介(たかはし ゆうすけ)氏

〔贈呈理由〕 氏の近著『禅竹能楽論の世界』は、金春禅竹の能楽理論をその背後の宗教世界や身体論との関わりの中で精緻に読み解き、長らく低迷していた禅竹能楽論研究を確実に進めた学術的達成として高く評価される。

〔主な経歴〕 神奈川県立金沢文庫学芸員。1978年1月東京生まれ。2001年3月慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業、2003年3月同大学院文学研究科国文学専攻修士課程を修了し、2006年3月に東京大学大学院総合文化研究科博士課程を単位取得満期退学。日本学術振興会特別研究員を経て、2009年4月より現職。2009年12月に東京大学より博士(学術)の学位を取得。主な研究分野は、能楽を中心とした日本中世文学・文献学、及び中世宗教思想史。金沢文庫において重要文化財・称名寺聖教(しようぎょう)の調査を行う一方、能楽研究においても主に中世の神仏世界や仏教史との関わりから能楽論や能作品の読解を進めている。松岡心平氏を中心とする観世文庫所蔵能楽関係資料の調査・研究、観世文庫のデジタル・アーカイブ編集にも参画。著書に『禅竹能楽論の世界』(慶應義塾大学出版会、2014年)、近時の論文に「観世元章手沢・石畳艶出模様紺表紙一番綴謡本の周辺」(松岡心平編『観世元章の世界』檜書店、2014年)などがある。法政大学能楽研究所兼任所員、一般財団法人観世文庫評議員、観世会荒磯能事前講座講師などをつとめる。

なお贈呈式は、次に記す催花賞とあわせて、2015年1月23日(金)午後6時半より、ハイアットリージェンシー東京で開かれた。受賞者をはじめ、選考委員、法政大学関係者、能楽関係者ら76名の出席のもとに、田中優子総長から賞状と賞金(各30万円)が贈られ、レセプションに移って歓談の後、

午後8時半過ぎに散会した。

【第二十五回催花賞】

〔受賞者〕 帆足 正規（ほあし まさのり）氏

〔贈呈理由〕 氏は森田流笛方として多年にわたって京都の能楽界を支えるとともに、〈死神〉（維盛）をはじめとする新作狂言を数多く発表し、能楽の新たな世界の開拓に大きな功績を果たしてきた。京都能楽囃子方同明会の理事長として京都コンサートホールでの囃子会を新たに企画するなど、囃子方の活性化に尽力した点も高く評価される。

〔主な経歴〕 森田流笛方。1931年3月10日、東京に生まれる。湘南高校在学中に宝生流の高橋進に師事。1950年、京都大学文学部「哲学科美学美術史専攻」に入学し、在学中より森田流の貞光義次に師事。1951年9月に〈班女〉で初舞台を勤める。1960年、能楽協会入会。1968年5月に〈道成寺〉（シテ山本真義）。その後、〈翁〉（清経音取）〈鸚鵡小町〉等を披く。2003年、京都能楽囃子方同明会の理事長に就任。「囃子堂」を京都コンサートホールで企画するなど、能楽囃子の宣伝・普及にも努める。これまで〈死神〉（1981年）、〈維盛〉（1985年）、〈ふろしき〉（1996年）、〈はらべ山〉（1999年）、〈仁王と運慶と泥棒と〉（2000年）など、新作狂言を多数執筆。中でも、1981年に渋谷ジャンジャンで茂山千之丞の演出により初演された〈死神〉は、その後再演を重ね、既に狂言茂山家のレ

パートリーとして定着している。また新作能に、福山大島能楽堂の委嘱で執筆された〈鞍のむろの木〉（2002年）、京都薪能に上演された観世・金剛共演の〈紅葉賀〉（2008年）がある。能楽に関するエッセイの執筆も数多く、2000年4月に始まった能楽タイムズの連載「気まま見たま思いうまま」は、2008年9月まで百回に及んでいる。趣味は古書・陶器・落語。重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽会会員。

【研究・調査活動】

共同利用・共同研究拠点

2013年度より文部科学省の認定を受けて開始した「能楽の国際・学際的研究拠点」も二年めに入り、テーマ設定型共同研究四種（①能楽研究所所蔵資料に基づく文献学的・言語学的研究、②江戸時代の能楽についての学際的研究、③能楽の演出・技法に関する総合的研究、④国際的視野に基づく新たな方法論構築のための能楽研究）および公募型共同研究五件が順調に活動を進めた。本年度の主な活動成果は以下のとおり。その他、各チームの研究進捗状況等の詳細は「能楽の国際・学際的研究拠点」のウェブサイトおよび、拠点の活動報告である「Journal」を参照されたい。

●シリモンボーン・スリヤウォンバイサーン氏特別講演会「謡曲における親子の表現——ことわざの引用に注目して」

5月8日(木) 於…法政大学ポアソナードタワー・会議室C

●能楽学会例会 能の伝承と「素人」

7月29日(火) 於…法政大学ポアソナードタワー・会議室B
研究発表

「素人と玄人の共演形態が生み出した演奏慣習」

藤田隆則(京都市立芸術大学教授)

「秋田城介型付」の性質―独自所作の検討を通して―

中司由起子(法政大学能楽研究所兼任所員)

「御部屋役者考―高井平右衛門と山田市之丞の履歴を中心に―」
宮本圭造(法政大学能楽研究所教授)

●シンポジウム「金春家文書の世界―文書が語る金春家の歩み―」

9月15日(月) 於…法政大学ポアソナードタワー・スカイホール

第一部

「金春家文書伝来の経緯」

宮本圭造(法政大学能楽研究所教授)

「金春禅竹の交流圏と翁論―『明宿集』を通して―」

高橋悠介(金沢文庫学芸員)

「役者として、師匠として―禅鳳自筆謡本をめぐる二、三の問題―」
石井倫子(日本女子大学教授)

第二部

「金春流型付の展開―被相伝者から見る金春安照型付―」

深澤希望(法政大学大学院博士後期課程)
「家芸断絶の危機はどう乗り越えられたか―金春八左衛門の本の持つ意味―」

宮本圭造(法政大学能楽研究所教授)

「道を継ぐ者達への遺言―『安住行状之大概』を読む―」

小林健二(国文学研究資料館教授)

第三部

宗家に聞く

金春安明(シテ方金春流八十世宗家)
聞き手…山中玲子(法政大学能楽研究所所長)

宮本圭造(法政大学能楽研究所教授)

●展示「金春家文書の世界―文書が語る金春家の歩み―」

9月12日(金)～10月6日(月) 於…法政大学ポアソナードタワー・博物館展示室

●第十八回法政大学能楽セミナー「能楽の現在と未来」

於…法政大学ポアソナードタワー・スカイホール
第1日 10月19日(日)

「現代に生きる能楽―さまざまな『現場』から―」

「趣旨説明」「能楽の現在と未来―いま考えてみたいこと―」

山中玲子(法政大学能楽研究所所長)
「インタビュ―」「守っていくもの変わっていくもの―現代における能の輪郭―」

観世喜正(能楽師観世流シテ方)

【報告】「世界の能を目指す―宇高通成とI・N・I国際能楽研究会」
 ディエゴ・ペレッキア

（立命館大学アート・リサーチセンター客員研究員）
 【インタビュー】「能楽の可能性と普及―今なにをすべきか」

野村万蔵（能楽師和泉流狂言方）

【全体討議】

第2日 10月26日（日）

シンポジウム 「能のエッセンス・能のかたち」

【報告1】「どこまでが能だったのか？―歴史的に見た能の輪郭」
 横山太郎（跡見学園女子大学准教授）

【報告2】「学生が作る新作能―演劇学の授業に能をどう組み込むか」
 竹内晶子（法政大学教授）

【報告3】「現代演劇と能」

小田幸子（能狂言研究家・明治学院大学非常勤講師）
 【報告4】「『現代能楽集』の作業―錬肉工房の挑戦」
 岡本章（演出家・明治学院大学教授）

【全体討議】

第3日 11月10日（月）

「能楽と西洋音楽」

【講演】「能楽から新しいオペラへ」

細川俊夫（作曲家）

【鼎談】細川俊夫・青木涼子（能×現代音楽アーティスト）・

宮本圭造（司会）

●研究集会 江戸初期筆「秋田城介型付」の復元…報告と討議
 11月24日（月） 於…法政大学ポアソナードタワー・スカイホール

「花月」復元の報告」

中司由起子（法政大学能楽研究所兼任所員）
 「秋田城介型付」における「ヨセイ」
 柳瀬千穂（法政大学大学院博士後期課程）

【討議】
 井上貴寛（シテ方金春流能楽師）
 柳瀬千穂・中司由起子

●研究集会 よみがえる鼓胴―山崎家伝来「錠図帯梨」の音色を聴く―
 2月27日（金） 於…法政大学ポアソナードタワー・スカイホール

「山崎家旧蔵小鼓伝書の概要」

高桑いづみ（東京文化財研究所無形文化遺産部
 無形文化財研究室室長・法政大学能楽研究所客員研究員）
 「実演とお話」
 小鼓・成田達志（幸流小鼓方能楽師）
 謡・坂真太郎（観世流シテ方能楽師）
 聞き手…高桑いづみ

能楽資料叢書1『大蔵虎清 間・風流伝書』の刊行

江戸初期に大蔵虎清がまとめた間狂言・風流の演出に関する伝書『法政大学鴻山文庫』の翻刻。風流15曲・間狂言23曲の装束付、囃子等について記したもの。他に虎清に関する資料三篇を付録として収める。

能楽資料叢書2『金春安住集』歌舞後考録』『御用留』の刊行

金春八左衛門安住の記した『御用留』・『歌舞後考録』（能楽研究所般若窟文庫蔵）の翻刻。前者は天明2〜3年、安住が江戸城等に出動した際の覚書や書上などの記録。後者は文政4〜6年にかけての出動記録、及びその際の注意事項等を書き留めたもの。

能楽資料叢書3『東北大学附属図書館蔵秋田城介型付』の刊行

江戸時代初期の能の実態を伝える型付の翻刻。秋田城介が下間少進らから教わった型を書き留めた資料。〈白楽天・定家・船弁慶〉など、38曲を所収する。

能楽研究叢書3『EXPRESSIONS OF THE INVISIBLE: a

comparative study of noh and other theatrical traditions』の刊行

2013年にイギリスのロイヤル・ホロウエイ大学、オクスフォード大学で開催した能の演技についての講演とワークショップ、討論会の英文による報告集。能と京劇の演技を比

較する論文や、能の表現方法や演技の特徴などを述べた講演、能とコンテンポラリーダンスの競演の記録等を取める。

能楽研究叢書4『野上豊一郎の能楽研究』の刊行

シンボジウム「生誕130年 野上豊一郎の能楽研究を検証する」(2013年度開催)の報告集。講演の記録、発表をもとにした論文等と、能楽研究所蔵の野上文庫蔵書目録・野上豊一郎著作目録を収める。

「教育・普及活動」

シリモンボーン・スリヤウォンパイサーン氏特別講演会「謡曲における親子の表現——ことわざの引用に注目して」(5月8日)

タイ国チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科シリモンボーン・スリヤウォンパイサーン教授による、親子について表現する際に用いられる諺を分類・精査した講演。

シンボジウム「金春家文書の世界——文書が語る金春家の歩み——」(6月15日)

能楽研究所般若窟文庫等所蔵の資料を用いた、金春歴代大夫の事績等に関する6本の発表と元金春流宗家の宗家の鼎談。題目については「研究・調査活動」の共同利用・共同研究拠点認定の項を参照された。

展示「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」
(9月12日～10月6日)

能楽研究所若狭文庫等所蔵資料の金春家に関わる資料を学内の博物館展示室にて、展示公開。9月15日開催のシンポジウムと連動した展示。

第十八回法政大学能楽セミナー「能楽の現在と未来」(10月19日～11月10日)

能楽における新しい試み(新作能や英語能等)が伝統的な能とどのように関わり合い、評価されているのか、研究者・能楽師・演出家等様々な立場から報告やインタビュ、討議、講演を行った。題目については「研究・調査活動」の共同利用・共同研究拠点認定の項を参照されたい。

〔資料の受贈〕

櫻間金記氏より、SPレコード「小督、八島」および複製CDの寄贈を受けた。また、小澤弘二氏より、謡本(宝生流、観世流)、能楽関係書籍、およびレコード(LP、シングル他)の寄贈を受けた。御寄贈いただいた櫻間金記氏・小澤弘二氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

〔所員の活動〕

山中 玲子

「元章時代の小書とその演出意図—小書一覧表・『小書型付』

翻刻—」(他にコラム執筆)

『観世元章の世界』 檜書店 26年6月

「世阿弥の『風情』」『世阿弥の世界』 京都観世会 26年10月

「能(江口)の描くもの」『観世』 81巻12号 26年12月

「檀風」『孝養』の習事—死者を悼む演技をめぐって—

『文学』 16巻2号 27年3月

“Expressive style in Noh: monologue, memory and movement”
Expressions of the Invisible (能楽研究叢書3)

法政大学能楽研究所 27年3月

「研究展望(平成23年作品研究)」『能楽研究』 39号 27年3月

「講演・研究発表・対談等」

「所作単元」再考」 能楽学会第13回大会

於…早稲田大学 26年6月

「能—動く文学の研究」

EAJS第14回大会 於…リユブリヤナ大学 26年8月

「能楽の現在と未来—いま考えてみたいこと」

「守っていくもの変わっていくもの—現代における能の輪郭」(観世喜正氏との対談)

「能楽の可能性と普及—今なにをすべきか」(野村万蔵氏との対談)

「能楽の現在と未来」第一回

連続能楽セミナー

「能楽の現在と未来」第一回

於…法政大学 26年10月

「シンポジウム 能のエッセンス・能のかたち」全体討議司会

連続能楽セミナー「能楽の現在と未来」第二回

於…法政大学 26年10月

「素人作者の能の特徴」 国立能楽堂公開講座 26年11月

於…国立能楽堂 26年11月

「型付」と所作単元—能の技芸を伝える方法— 26年11月

シンポジウム『伝統芸能の伝承と人材育成—茶道と能の現場から—』 於…法政大学 27年3月

「所作と所作をつなぐ意識—能楽と「間」」

国際学会「『間(ま)と間(あいだ)』—日本の文化・思想の可能性」 於…ストラスブール大学 27年3月

宮本 圭造

「観世元章とその時代」(ほかに元章小事典・コラムも担当)

『観世元章の世界』 檜書店 26年6月

「能操り」覚書

『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』 8号 26年6月

「仮面譜」の成立 26年7月

『能楽研究』 38号 26年7月

『明和九年の観世元章上京をめぐる新資料』 26年7月

「ヤマの祭りと芸能」

『三ツ山大祭と祭りのこころ』 26年8月

「レンズがとらえた能楽史⑫」 『能と狂言』 12号 26年8月

「島根比布智神社の『風姿花伝』」

『世阿弥の世界』 京都観世会 26年10月

「観世文庫の文書 松前藩「松竹」小謡文句につき書留」

『観世』 81巻11号 26年11月

『能楽は日本固有の芸能か』 『観世』 82巻1号 27年1月

「能(高砂)の変容」 『日本のアイデンティティとアジア』 27年1月

「キリシタン能は存在したか」

『上智大学国文学論集』 48号 27年1月

解説「妙庵玄又手沢五番綴謡本・淵田虎頼等節付一番綴謡本」 平成二十六年国立能楽堂特別展示

『松井家の能』 27年1月

『能楽研究』 39号 27年3月

「面打ホウライ考」

「大和の村落祭祀と能」

『万葉古代学研究年報』 13号 27年3月

「野上豊一郎の能面研究」

能楽研究叢書4 『野上豊一郎の能楽研究』

野上記念法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点

「能楽の国際・学際的研究拠点」 27年3月

「造り山の舞台と芸能—幸有・丹鶴・能—」

『播磨国総社三ツ山大祭調査報告書』 27年3月

「能界展望(平成23年)」 『能楽研究』 38号 26年7月

「研究展望(平成23年)(単行本)」 『能楽研究』 39号 27年3月

劇評「暗闇で聞く古典芸能」 『朝日新聞』 26年6月

「松江城下の町人と能楽」 刊行に寄せて

『山陰中央新報』 26年8月

劇評「狂言ござる乃座」 『朝日新聞』 26年10月

劇評「横浜能楽堂特別公演 綾鼓」 『朝日新聞』 27年2月

「講演・研究発表等」

「御部屋役者考―高井平右衛門と山田市之丞の履歴を中心に―」 能楽学会例会 於…法政大学 26年7月

「Warriors Dancing Noh: The line between professional and amateur」

E A J S第14回大会 於…リユブリヤナ大学 26年8月

「大和の村落祭祀と能」

公開シンポジウム「仮面が語る芸能の世界」

於…万葉文化館 26年9月

「金春家文書伝来の経緯」

「家芸断絶の危機はいかに乗り越えられたか」

シンポジウム「金春家文書の世界―文書が語る金春家の歩み―」 於…法政大学 26年9月

「現代に生きる能楽」全体討議司会

連続能楽セミナー「能楽の現在と未来」第一回

於…法政大学 26年10月

「能楽と西洋音楽」鼎談(細川俊夫氏・青木涼子氏と)

連続能楽セミナー「能楽の現在と未来」第三回

於…法政大学 26年11月

「民俗芸能の視点から見る能面」 国際研究集会「見つめる能面・能面を見つめる」 於…神戸女子大学 26年11月

公開講座「能「求塚」の魅力を探る」 鏡仙会 27年2、3月
「展示」

「金春家文書の世界」企画・展示解説

於…法政大学ポアソナードタワー14階展示室 26年9月

表 きよし

「日本の伝統文化(能・狂言とアジア)」

『リーディングス21世紀アジア』 成文堂 26年4月

「研究展望(平成22年 能楽史研究)」

『能楽研究』 38号 26年7月

「世阿弥の(頼政)をめぐる」

『観世』 81巻9号 檜書店 26年9月

「『風姿花伝』について思うこと」

『世阿弥の世界』 京都観世会 26年10月

「研究展望(平成23年 能楽史研究)」

『能楽研究』 39号 27年3月

「講演」

「オフィスしみかんシリーズ講座・世阿弥を読む(夢跡一紙・書状)」 於…青山生涯学習館 26年5月

「オフィスしみかんシリーズ講座・世阿弥を読む(金鳥書)」 於…青山生涯学習館 26年7月

「補巖寺建碑30周年記念行事講演・世阿弥と補巖寺」

於…弥生の里ホール 26年8月

「楽しく能を知る会講演・江戸時代の諸藩と能楽」

於…豊岡市城崎市民センター 26年8月

「鏡仙会公開講座・能との新たな出会いⅣ」

於…鎮仙会能楽研修所 26年8～9月

「鶴沢久の会・『松風』」をよく知る為の事前講座

於…国立能楽堂大講義室 26年10月

「オフィスしみかん講座・仏原曲目研究会」

於…鎮仙会能楽研修所 26年10月

「オフィスしみかん講座・葛城曲目研究会」

於…鎮仙会能楽研修所 27年1月

「逗子市能狂言公演事前講座 能『杜若・恋之舞』の魅力」

於…逗子市文化プラザホール 27年2月

小林 健二

国文学研究資料館影印叢書6『狂言絵 彩色やまと絵』編著

勉誠出版 26年6月

「描かれた能楽の世界(3)～(10)」

『金春月報』 26年4～12月

能楽資料叢書2『金春安住集』『歌舞後考録』『御用留』編集

野上記念法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点

「能楽の国際・学際的研究拠点」 27年3月

「講演・研究発表等」

「唱導説話と芸能」司会・コーディネイター

説話文学会例会 シンポジウム

於…専修大学 26年9月

「変革期における幸若舞曲の展開—絵画化を軸として—」司会・コーディネイター

E A J S 第14回大会 於…リュブリヤナ大学 26年8月

「道を継ぐ者達への遺言—『安住行状之大概』を読む」パネリスト

シンポジウム

「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」 於…法政大学 26年9月

「百花繚乱—江戸時代の絵巻・絵本—」 大阪大谷大学 博物館講座 26年10月

於…大阪大谷大学 26年10月

石井 倫子

「(鐘巻)から(道成寺)へ」

『青葉乃会』パンフレット 26年11月

「研究展望(平成22年)」

『能楽研究』第38号 26年7月

「研究展望(平成23年)」

『能楽研究』第39号 27年3月

「講演・研究発表等」

「能の現在とこれから—宝生宗家に聞く—」能楽学会例会 於…法政大学 26年5月

「娯楽としての謡・舞」能楽水先案内 能の地平を拓く・2 於…日本女子大学生涯学習センター 26年5月

「世阿弥以降の能作者たち⑤『金春禅鳳』」国立能楽堂公開講座 26年8月

「役者として、師匠として—禅鳳自筆謡本をめぐる二、三の問題—」 於…国立能楽堂大講義室 26年8月

シンポジウム「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」 於…法政大学 26年9月

「役者として、師匠として—禅鳳自筆謡本をめぐる二、三の問題—」

シンポジウム「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」 於…法政大学 26年9月

「役者として、師匠として—禅鳳自筆謡本をめぐる二、三の問題—」

シンポジウム「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」 於…法政大学 26年9月

「役者として、師匠として—禅鳳自筆謡本をめぐる二、三の問題—」

「能の物語世界」 能楽水先案内

於…日本女子大学生涯学習センター 26年11月

「〔葵上〕を観る」 日本女子大学附属中学校能楽鑑賞会事前講座

座 於…日本女子大学西生田成瀬講堂 27年1月

「解説文・翻訳等」

「能楽対談 将来を見据えて 宝生和英・石井倫子」

『能楽タイムズ』第748号 26年6月

豊島 正之

「キリシタン版のVulgar聖書引用に就つ」

『上智大学国文学科紀要』32号 27年3月

「キリシタン文献の表記の揺れと統一」

『上智大学国文学論集』48号 27年1月

「講演・研究発表等」

「キリシタン版の全て」 上智大学公開講座「キリスト教講座 第3回」

於…上智大学大阪サテライトキャンパス 26年7月

「解説文・翻訳」

「重要文化財 ドチリーナ・キリシタン 天草版」解説

東洋文庫監修 東洋文庫善本叢書2 勉誠出版 26年9月

「サクラメント提要 長崎版」解説

東洋文庫監修 東洋文庫善本叢書4 勉誠出版 26年10月

「フロストリー 長崎版」解説

東洋文庫監修 東洋文庫善本叢書6 勉誠出版 27年3月

伊海 孝充

「門外漢の能楽研究―野上豊一郎の視座」

能楽研究叢書4 『野上豊一郎の能楽研究』

野上記念法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点

「能楽の国際・学際的研究拠点」

『玉屋謡本の研究(一)』 『能楽研究』38号 26年7月

「親任(大聖寺)」の成立背景と復曲の意義

『いせさき能パンフレット』 27年1月

「孝養譚としての能」調伏曾我―能における「親子恩愛」の問題

『タイ国日本研究国際シンポジウム2014 論文報告書』

「明窓浄机」 『金春月報』25年4月〜27年3月 27年3月

「世阿弥が語らなかつた能の姿」

『世阿弥の世界』京都観世会発行

「元章小事典」 『観世元章の世界』檜書店 26年10月

「真田 復曲」 『真田 復曲検討会』 26年10月

「研究展望(平成22年)狂言」 『能楽研究』38号 26年7月

「研究展望(平成23年)狂言」 『能楽研究』39号 27年3月

「講演・研究発表等」

「世阿弥以降の能作者たち③」宮増 国立能楽堂公開講座

於…国立能楽堂大講義室 26年6月

「曾我虎」から曾我物の展開を考える」2014年度世阿弥忌セミナー

於…弥生の里ホール 26年8月

「能の曾我物の成立と展開―「調伏曾我」を中心に」

タイ国日本研究国際シンポジウム2014

於…チューラーロンコン大学 26年8月

「復曲「真田」について」 第5回湘南ひらつか能狂言

於…平塚市中央公民館 26年10月

「番外曲「親任」について」 第10回いせさき能

於…伊勢崎市境総合文化センター 27年1月

江口 文恵

「観世大夫家と大徳寺―大徳寺文書に見る戦国期の観世大夫家の動向」(「元章小事典」も担当)

『観世元章の世界』 檜書店 26年6月

「研究展望(平成22年) (単行本)」

『能楽研究』 第38号 26年7月

「葛巻昌興日記」 所引能楽記事稿(天和四年・貞享元年分)」

『演劇研究』 第38号 27年3月

「研究展望(平成23年)能楽論」 『能楽研究』 第39号 27年3月

中司 由起子

「枕ノ段の型の研究―扇を投げる・衣を被く」

『能楽研究』 38号 26年7月

能楽資料叢書3 『東北大学附属図書館蔵秋田城介型付』

「秋田城介型付」研究会(江口文恵・中司由起子・深澤希望・柳瀬千穂)

野上記念法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点

「能楽の国際・学際的研究拠点」

27年3月

「梅若六郎家蔵『伝授免状扣』翻刻」 初代梅若実資料研究会

(加賀谷真子・氣多恵子・小林貢・土谷桃子・中司由起子・深澤希望・別府真理子・三浦裕子)

『武蔵野大学能楽資料センター紀要』 26号 27年3月

「能楽対談古希記念能 櫻間金記」

能楽書林 『能楽タイムズ』 750号 26年9月

「国立能楽堂公演番組解説」

『国立能楽堂』 26年4月〜27年3月

「金春会定期能番組解説」

26年4月〜27年3月

「元章小事典」(書上・新改正・寺町百庵・習事の項目)

『観世元章の世界』 檜書店 26年6月

「講演・研究発表等」

「アマチュアの記した型付の特徴―「秋田城介型付」を中心に」

E A J S 第14回大会 於…リュブリャナ大学 26年8月

「花月」復元の報告」 「江戸初期筆「秋田城介型付」の復

元…報告と討議」 於…法政大学 26年11月

「伝統芸能シリーズ 能への誘い」 首都大学東京オーブンユ

ニバーシティ 於…首都大学東京 27年2月、3月

高橋 悠介

特別展図録『徒然草と兼好法師』

神奈川県立金沢文庫 26年4月

於…立正大学大崎校舎 26年12月

「中世寺社の空間・テクスト・技芸―「寺社園」のパスベ

クティヴ」(アジア遊学174)

於…明治大学駿河台キャンパス 27年3月

大橋直義・藤巻和宏・高橋悠介編 勉誠出版 26年6月

「観世元章手沢・石畳艶出模様紺表紙一番綴謡本の周辺」

「元章小事典」 『観世元章の世界』 檜書店 26年6月

「称名寺の千字文説草と杉本寺」

『金沢文庫研究』 334号 27年3月

「講演・研究発表等」

「世阿弥以降の能作者たち②」 「金春禅竹」 国立能楽堂公開

講座 於…国立能楽堂大講義室 26年5月

荒磯能事前講座「簾・半部・善界」

於…梅若能楽学院会館 26年5月

荒磯能事前講座「班女・安達原」

於…梅若能楽学院会館 26年9月

「伝憲深撰『灌頂印明口決』について」 東アジア仏教研究会

第23回定例研究会 於…大正大学 26年5月

「Development of Formation of Aizen Myoo and Remaining

Examples in Europe」(愛染明王の造形の展開と在欧遺例)」

E A J S第14回大会 於…リュブリヤナ大学 26年8月

「金春禅竹の交流圏と翁論―『明宿集』を通して」

シンポジウム「金春家文書の世界―文書が語る金春家の歩

み―」 於…法政大学 26年9月

「建治三年の宝珠制作」 日本仏教総合研究学会第13回大会

「日前国懸と内侍所」 紀州地域学共同研究会第5回例会

於…明治大学駿河台キャンパス 27年3月

「蔵書の出品・掲載」

① 勉誠出版発行の国文学研究資料館影印叢刊6『狂言絵 彩

色やまと絵』に『能狂言絵つくし』『はやうるし』の画像

掲載を許可した。(2014年6月刊行)

② 檜書店発行「横道萬里雄の能楽講義ノート(囃子編)」の参

考資料として山崎家旧蔵小鼓胴「錠図薔梨」の掲載を許可

した。(2014年12月刊行)

③ 淡交社発行の月刊茶道誌『淡交』2014年6月号に掲載

の神津朝夫氏の連載「年表でみる茶の湯と同時代史」に

「光悦謡本(色替り異装本)」「大原御幸」の画像使用を許可

した。

④ 読売新聞大阪本社発行『読売新聞 夕刊』2014年5月

26日付伝統芸能「吉野琴 復曲試演の会」記事に「二曲三

体人形図」「天女舞」の画像掲載を許可した。

⑤ NHK中高生向け教育番組『10min.ボックス国語／古文・

漢文』「狂言」(2007年制作)の再放送、および番組

ホームページに『天正狂言本』の映像再使用を許可した。

⑥ 東京文化財研究所発行『かたち』再考―開かれた語りの

ために―に『堀池宗活章句本』『呉服』『塵芥抄』の画

像掲載を許可した。(2014年12月刊行)

⑦ 檜書店発行の高桑いづみ著『能・狂言謡の変遷…世阿弥から現代まで』の付載資料として『塵芥抄』、『下間少進手沢車屋謡本』『杜若』ほか9点、『室町末期筆長頼本』『呉服』『金春喜勝節付本』『呉服』、『番外曲舞・語り七十一番』『龍田川辺』『広元』、『小舞秘書 全』『海道下』、『鶴定経相伝鶴流伝書』『海道下』の画像掲載を許可した。(2015年2月刊行)

⑧ 檜書店発行『観世』平成26年9月号特別企画「能の大成者たち」に掲載の表きよし氏の論文「世阿弥の〈頼政をめぐって〉に黒川春村旧蔵『世子六十以後申楽談儀』「一面のこと」の画像使用を許可した。

⑨ 平凡社発行の創立100周年記念特別号『別冊太陽 日本美術史入門』に『光悦謡本(特製本)』『野の宮』の画像掲載を許可した。(2014年11月刊行)

⑩ 京都観世会発行『世阿弥の世界…観阿弥生誕六八〇年 世阿弥生誕六五〇年記念』に『二曲三体人形図』『女体』『天女舞』の画像掲載を許可した。(2014年10月刊行)

⑪ 三弥井書店発行の鈴木健一編『天空の文学史…太陽・月・星』『世阿弥の月―融―(姥捨)(江口)(井筒)にみる反復と混淆』に『能御絵鑑』『融』の画像掲載を許可した。(2014年10月刊行)

⑫ 岩崎書店発行『新版 日本の伝統芸能はおもしろい 観世清和と能を観よう』に『二曲三体人形図』『童舞』ほか4点、『弘化勸進能絵巻』『畳場入込場之図』『場中売物之図』、

錦絵『町入能図』の画像掲載を許可した。(2015年3月刊行)

⑬ 淡交社発行『年譜でたどる琳派400年』に『光悦謡本(色替り異装本)』『大原御幸』の画像掲載を許可した。(2015年1月刊行)

⑭ 柏書房発行の山本博文、堀新、曾根勇二編著『豊臣秀吉の古文書』に『天正拾年三月九日付、観世彦右衛門あて羽柴秀吉折紙』の資料掲載を許可した。(2015年1月刊行)

⑮ 小学館発行『サライ』2015年2月号「琳派400年記念特集 本阿弥光悦と俵屋宗達」に『光悦謡本(特製本)』『道成寺』の画像掲載を許可した。

⑯ NHK「唐紙―千年の文様の美―」(NHKワールド 2015年1月24日放送/BSプレミアム3月28日放送)に『光悦謡本』『大原御幸』の画像使用を許可した。

⑰ アクセント史資料研究会発行『論集X』に掲載の坂本清恵氏の論文「金春禅竹の胡麻章―施譜法とアクセント反映度」に『五音三曲集』の画像使用を許可した。(2015年2月刊行)

⑱ 能楽学会発行『能と狂言』13号に掲載の坂本清恵氏の論文に『伝観世小次郎信光筆謡本』『江くち』の画像使用を許可した。(2015年5月刊行)

⑲ 横浜能楽堂で開催された特別展「番組でみる明治の能楽」展示のため、明治期の能番組ほか11種類合計53点の資料貸出を許可した。(会期…2014年12月20日～2015年

2月8日)

②0 東洋音楽学会発行『東洋音楽研究』第79号に掲載の丹羽幸江氏の論文に『本多上野介旧藏観世身愛章句本』『融』『袖さむき』の画像使用を許可した。(2014年8月刊行)

②1 汲古書院発行の鈴木彰他編『いくさと物語の中世』に掲載の小秋元段氏の論文『吾妻鏡』刊本小考』に、図版として引用するため『光悦謡本(特製本)』『鞍馬天狗』の「平家」「平」活字部分、『光悦謡本(上製本)』『鞍馬天狗』の「平家」「平」活字部分の掲載を許可した。(2015年8月刊行)

②2 NHK Eテレ『100分de名著ブックス 世阿弥 風姿花伝』の番組テキストに『弘化勸進能絵巻』『舞台棧敷一覽之図』『舞台・階・掛之図』の掲載を許可した。(2015年2月刊行)

②3 笠間書院発行の田中優子編『日本人は日本をどうみてきたか』江戸から見る自意識の変遷』に掲載の竹内晶子氏のコラム『世阿弥能にみる日本意識』に『能御絵鑑』『班女』の画像掲載を許可した。(2015年2月刊行)

②4 解放出版社発行の村崎修二編著『愛猿奇縁 猿まわし復活の旅』に『能楽図絵』『靱猿』の画像掲載を許可した。(2015年4月刊行)

②5 University of Hawaii Press 発行『Bodies in Times: The Buddhist Transformation of Old Age in Medieval Japan』に『二曲三休人形図』『老鉢』の画像掲載を許可した。

(2016年5月刊行)

②6 サントリー美術館で開催された『着想のマエストロ 乾山見参』展の図録掲載のため『光悦謡本(特製本)』『卒塔婆小町』『藤戸』、『光悦謡本(上製本)』『大原御幸』『うとふ』の画像使用を許可した。(会期…2015年5月27日～7月20日)

②7 朝日新聞出版発行『週刊マンガ 日本史』改訂版29号『観阿弥・世阿弥』の再版につき『二曲三休人形図』『老体』ほか3点の画像掲載を許可した。(2015年9月刊行)

②8 昭和音楽大学発行『昭和音楽大学研究紀要』vol.33に掲載の丹羽幸江氏の論文に『宗節謡秘書』、『石田少左衛門盛直節附本』『江口』『老松』『松風』の画像掲載を許可した。(2015年3月刊行)

②9 根津美術館で開催された『尾形光琳300年忌記念特別展『燕子花と紅白梅』展の図録掲載のために、『光悦謡本(上製本)』『盛久』ほか4点、『光悦謡本(上製異植本)』『紅葉狩』、『光悦謡本(色替り異装本)』『大原御幸』の画像使用を許可した。(会期…2015年4月18日～5月17日)

③0 国立能楽堂発行『国立能楽堂調査研究』vol.9に掲載の中嶋謙昌氏の巻頭カラーページに『宝生流作物図』『浦島』の画像掲載を許可した。(2015年3月刊行)

③1 シュハリ・イニシアティブ発行『日本料理全集 プロローグ巻』(英語版、日本語版、イタリア語版)に『光悦謡本(色替り本)』『海士』の画像掲載を許可した。(日本語版

2015年12月刊行

③三重県発行『三重県史』資料編「古代・中世」に『天正十一年九月十日 織田信雄知行宛行状』（天正十一年九月十日付、観世宗鋸あて織田信雄折紙）の掲載を許可した。
(2015年3月刊行)

③和泉書院発行『伊藤正義中世文華論集 第三巻 金春禪竹の研究』に『六輪一露之記』の画像掲載を許可した。
(2016年1月刊行)

③鎌倉文学館で開催された特別展「スーパーストーリー源氏物語」の展示パネル、および展覧会図録に『伝観世小次郎信光筆謡本』「あふひの上」の画像使用を許可した。(会期・2015年4月25日～7月5日)

〔雑報〕

◇高村雅彦氏が兼担所員に就任

高村雅彦氏(デザイン工学部教授)が2014年4月1日付で兼担所員に就任した。

◇ステイヴン・ネルソン氏が兼担所員・運営委員を退任

ステイヴン・ネルソン氏(文学部教授)が2014年3月31日付で兼担所員および運営委員を退任した。

◇客員研究員の委嘱

共同利用・共同研究拠点(能楽の国際・学際的研究拠点)公募型共同研究課題採択者および研究分担者に対して、規程に基づき客員研究員を委嘱した。

坂本清恵(日本女子大学文学部教授)

高桑いづみ(東京文化財研究所無形文化遺産部無形文化財研究室長)

シュウエマー・バトリック(プリンストン大学大学院比較文学科・博士課程後期)

以上、任期2014年4月1日～2015年3月31日

長崎 巖(共立女子大学家政学部教授)

渡邊雅子(学習院大学客員研究員・非常勤講師)

ジョイス・デニー(ニューヨークメトロポリタン美術館

テイーチングアシスタント)

門脇幸恵(国立能楽堂事業推進課調査資料係主任)

児玉竜一(早稲田大学文学部教授)

飯島 満(東京文化財研究所無形文化遺産部部長)

今岡謙太郎(武蔵野美術大学造形学部教授)

中尾 薫(大阪大学文学部准教授)

寺田詩麻(早稲田大学文学部非常勤講師)

横山太郎(跡見学園女子大学文学部准教授)

以上、任期2014年6月2日～2015年3月31日

井川繭子(松竹大谷図書館館員)

別府真理子(武蔵野大学能楽資料センター研究室員)

以上、任期2014年6月27日～2015年3月31日

◇外国人客員研究員の受入

外国人客員研究員としてレジナルド・ジャクソン氏(米国

シカゴ大学東アジア言語・文学部准教授)を受け入れた。

(受入期間…2013年10月1日～2014年9月30日)氏の研究課題は「能の所作を記録するメディアの発達と、その技術誇示に利用された「能」の文化的価値」

また、マシュー・トマス・チャドノー氏(米国カリフォルニア大学アーバイン校大学院東アジア言語・文学部博士課程)を受け入れた。(受入期間…2013年9月1日～2014年11月30日)氏の研究課題は「金春禅竹が書いた謡曲における女人成仏の問題と15世紀の日本の政治的緊張」

◇研究補助員(共同利用・共同研究拠点関係)の採用

2014年4月1日付で共同利用・共同研究拠点の研究活動の遂行にあたるための研究補助者として能楽研究所兼任所員の中司由起子氏を、またリサーチ・アシスタントとして人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程在籍の深澤希望氏を引き続き採用した。

◇事務嘱託職員(共同利用・共同研究拠点関係)の採用

2014年5月1日付で共同利用・共同研究拠点担当の事務嘱託として、松浦奈緒氏を採用した。

◇臨時職員(夜間閲覧業務)の採用

2013年度に引き続き、2014年4月1日付で藤井月菜氏を採用した。

「2014年度の所員名と関連委員名」

◎所員

所長・専任所員 教授

専任所員 教授

兼任所員 文学部教授

兼任所員 文学部教授

兼任所員 文学部准教授

兼任所員 国際文化学部教授

兼任所員 国際文化学部教授

兼任所員 デザイン工学部教授

兼任所員 デザイン工学部教授

兼任所員 国士館大学教授

兼任所員 国文学研究資料館教授

兼任所員 日本女子大学教授

兼任所員 上智大学教授

兼任所員 神奈川県立金沢文庫

兼任所員

兼任所員

兼任所員

兼任所員

兼任所員

◎運営委員

議長 所長

委員 専任所員

委員 兼任所員

山中 玲子

宮本 圭造

星野 勉

小秋元 段

伊海 孝充

鈴木 靖

竹内 晶子

岩月 正見

高村 雅彦

表 きよし

小林 健二

石井 倫子

豊島 正之

高橋 悠介

中司由起子

江口 文恵

渡部 英司

岩佐 容子

松浦 奈緒

山中 玲子

宮本 圭造

星野 勉

委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員

小秋元 段 委員 法人本部担当常務理事
伊海 孝充 委員 能楽評論家
鈴木 靖 委員 日本女子大学教授
竹内 晶子 委員 政法大学名誉教授
岩月 正見 委員 観世流シテ方能楽師
高村 雅彦 委員 能楽研究所専任所員
委員 能楽研究所専任所員

◎政法大学能楽振興基金委員

委員長 國際學術支援本部担当常務理事
委員 法人本部担当常務理事
委員 写真家
委員 政法大学名誉教授
委員 能楽研究者
委員 能楽研究所専任所員
委員 能楽研究所専任所員

増田 正人 委員 國際學術支援本部担当常務理事
廣瀬 克哉 委員 能楽研究所所長
服部 冬樹 委員 能楽研究所専任所員
西野 春雄 委員 文学部教授
羽田 昶 委員 国際文化学部教授
山中 玲子 委員 理工学部教授
宮本 圭造 委員 山口県立大学教授
委員 神戸女子大学教授
委員 観世流シテ方能楽師
委員 国際医療福祉大学教授
委員 早稲田大学教授
委員 明治学院大学教授

◎政法大学能楽賞委員

委員長 國際學術支援本部担当常務理事
委員 法人本部担当常務理事
委員 能楽研究所所長
委員 能楽研究所専任所員

増田 正人 委員 観世流シテ方能楽師
廣瀬 克哉 委員 国際医療福祉大学教授
山中 玲子 委員 早稲田大学教授
宮本 圭造 委員 明治学院大学教授
ワトソン・マイケル

◎政法大学能楽賞選考委員

委員長 國際學術支援本部担当常務理事

増田 正人

◎共同利用・共同研究拠点公募型共同研究課題専門委員
委員 能楽研究所所長 山中 玲子

廣瀬 克哉
松本 雍
みなもと ころう
西野 春雄
観世鍔之丞
山中 玲子
宮本 圭造

◎共同利用・共同研究拠点運営委員

委員長 國際學術支援本部担当常務理事

福田 好朗

委員 能楽研究所所長 山中 玲子

委員 能楽研究所専任所員 宮本 圭造

委員 文学部教授 小秋元 段

委員 国際文化学部教授 竹内 晶子

委員 理工学部教授 八名 和夫

委員 山口県立大学教授 稲田 秀雄

委員 神戸女子大学教授 大谷 節子

委員 観世流シテ方能楽師 観世 喜正

委員 国際医療福祉大学教授 佐藤 禎一

委員 早稲田大学教授 竹本 幹夫

委員 明治学院大学教授 ワトソン・マイケル

- 委員 能楽研究所専任所員 宮本 圭造
委員 国際文化学部教授 竹内 晶子
委員 観世流シテ方能楽師 観世 喜正
委員 国文学研究資料館教授 小林 健二
委員 金沢大学教授 西村 聡
委員 東京文化財研究所無形文化財研究室長 高桑 いづみ

〔受贈図書〕

☆単行本〔受入順。*印は寄贈者。書名・著者・発行年・発行者の順。著者および編者が発行している場合は、発行者は省略。〕

- 〔柳川文化資料集成第二集 安東省菴集 翻字編〕
柳川市史編集委員会編 平26 *柳川市
〔The Guide to Noh of the National Noh Theatre 3
Play Summaries of the Traditional Repertory (Ko-M)〕
Richard Emmett 著 平26 *国立能楽堂
〔THEATRE YEARBOOK 2014 Theatre in Japan 日本の舞台
芸術を知る〕
*国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 平26
〔THEATRE YEARBOOK 2014 Theatre Abroad 世界の舞台
芸術を知る〕

- *国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 平26
〔紛争地域から生まれた演劇 その5 アラブ・イスラム世
界の現代戯曲〕 平26 国際演劇協会日本センター
〔松江城下の町人と能楽(山陰研究ブックレット3)〕
小林准士著 平26 *島根大学法文学部山陰研究センター
〔愛知県史 資料編21 領主1(近世7)〕
愛知県史編さん委員会編 平26 *愛知県
〔鴻山文庫蔵能楽資料解題下(第三部) 付・狂言・資料他〕
*法政大学能楽研究所編 平26
〔京都花街の経営学〕
*西尾久美子著 平19 東洋経済新報社
〔京都花街、人育ての極意 舞妓の言葉〕
*西尾久美子著 平24 東洋経済新報社
〔おもてなしの仕組み 京都花街に学ぶマネジメント〕
*西尾久美子著 平26 中央公論新社
〔永青文庫所蔵資料調査報告集 第2集 能面と能道具〕
熊本県立美術館編 平26 *門脇幸恵
〔下田文庫蔵書目録(下田益三・雄三氏旧蔵)〕
平25 *東海能楽伝承会
〔越前 出目家の系図の謎解き〕
*保田紹雲著 平26
〔岩倉具視の能楽再興を支えた人物 久米邦武と能楽展 資
料集〕
*久米美術館編 平26
〔国文学研究資料館影印叢書6 狂言絵 彩色やまご絵〕
*国文学研究資料館編 平26 勉誠出版

「復曲能」「吉野琴」謡本」

味方健・片岡九郎右衛門他編 平26 *京都観世会

「國學院大学所蔵古典籍解題 中世散文文学篇」 *國學院大

学研究開発推進機構校史・学術資産研究センター編

平26 國學院大学

「能界情報おもてうら 堀上謙評論・随想集」

*堀上謙著 平26 能楽書林

「元伯宗旦の研究」

*中村静子著 平26 思文閣出版

「観世元章の世界」

松岡心平編 平26 *檜書店

「面打ち 長澤氏春」

金春信高・中村公一著 昭55 毎日新聞社 *加藤泰昭

「真田」復曲」

梅若万三郎監修 平26 檜書店 *伊海孝充

「天空の文学史 太陽・月・星」

鈴木健一編 平26 *三弥井書店

「観阿弥誕生六八〇年・世阿弥誕生六五〇年記念 世阿弥の

世界」

*京都観世会編 平26

「別冊太陽「日本美術史入門」」

河野元昭監修 平26 *平凡社

「カラー百科 写真と古図で見る 狂言七十番」

*田口和夫編 平26 勉誠出版

「城瑞別院善徳寺 虫干法会」

*阿部泰郎監修 平26 城瑞別院善徳寺

「能楽研究所創立40周年記念 第4回試演能(鐘巻)謡本」

平4 *法政大学能楽研究所

「能楽研究 38号」

*法政大学能楽研究所編 平26

「盆山 屏風に息づく中世の盆栽」

*さいたま市大宮盆栽美術館編 平26

「濱村コレクション

能面・狂言面」

上田市立博物館編 平26 *倉沢正幸

「横道萬里雄の能楽講義ノート(囃子編)」

横道萬里雄の能

楽講義ノート出版委員会編

平26 *檜書店

「図録 平成26年度国立能楽堂特別展示

松井文庫創立三十

周年記念 松井家の能」

*国立能楽堂編 平27

「年譜でたどる琳派400年」

河野元昭監修 平27 *淡交社

「観世元章の世界」

*松岡心平編 平27 檜書店

「世阿弥 風姿花伝」

土屋恵一郎著 平27 *NHK出版

「芸術学事始め 宇宙を招くもの」

*小林道憲著 平27 中央公論新社

「受容と抵抗 西洋科学の生命観と日本」

*法政大学国際日本学研究所編 平27

「百年後の検証・中国人の日本留学およびその日本観」

*法政大学国際日本学研究所編 平27

「笑謡 現代語訳と解説」

*大場柯風著 平26 文芸社

「能・狂言 謡の変遷 世阿弥から現代まで」

*高桑いづみ著 平27 檜書店

「かたち」再考 開かれた語りのために」

* 東京文化財研究所編 平 26

『日本人は日本をどうみてきたか 江戸から見る自意識の変遷』 田中優子編 平 27 *笠間書院

『観世清和と能を観よう』

小野幸恵著 平 27 *岩崎書店

『論集X 秋永一枝先生米寿記念』

*アクセント史資料研究会 平 26

『Expressions of the invisible : a comparative study of noh and other theatrical traditions』

Michael Watson and Reiko Yamanaka 著 平 27 *法政大学能楽研究所共同利用・共同研究拠点「能楽の国際・学際的研究拠点」

『ギリシア悲劇と能における「劇展開」』

M. J. スメサースト著 平 26 *法政大学能楽研究所(共同利用・共同研究拠点「能楽の国際・学際的研究拠点」)

『黒川能面装束図譜』 黒川能面装束図譜製作実行委員会編 平 26 *黒川能保存会

『日本のアイデンティティとアジア』

平 27 *法政大学国際日本学研究所

『「日本意識」の未来…グローバルゼーションと「日本意識」』

平 27 *法政大学国際日本学研究所

『野上豊一郎の能楽研究』 伊海孝充編 平 27 *法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点「能楽の国際・学際的

研究拠点」

『続 狂言史の基礎的研究』

* 関屋俊彦著 平 27 関西大学出版部

『愛猿奇縁 猿まわし復活の旅』 村崎修二編著 平 27 *解放出版社

☆雑誌・紀要など〔特記した以外は発行所からの寄贈誌名・

号数・発行年・発行所の順〕

〈雑誌など〉

葵 徳川美術館だより No 90～94(平 26・27)

岩瀬文庫だより No 41～45(平 26・27) 西尾市岩瀬文庫

おもて 121～124号(平 26・27) 大槻能楽堂

観世 81巻4号～82巻3号(平 26・27) 檜書店

観世九阜会定例会 5月～5月(平 26・27) 観世九阜会

喜多流職分会自主公演能 6月～4月(平 26・27)

喜多流青年能 第36回 喜多流職分会

能おおしま草紙 29号(平 26) 喜多流大島能楽堂

橘香 59巻1～12号(平 26) 梅若研能会

汲古 65号(平 26) 汲古書院

京都薪能65回(平 26) 京都能楽会

藝能 20号(平 26) 藝能学会

KENSYO vol.33～96(平 26・27) セクターエイティエイト

国文研ニュース No 35～38(平 26・27) 国文学研究資料館

調査研究報告 34号(平 26) 国文学研究資料館

- 国際日本文学研究集会 第37回会議録
 国立能楽堂 368 ～ 379号 (平26・27)
 国立能楽堂調査研究 vol.18 (平26)
 金剛の能 第2回 ～ 第1回 (平26・27)
 金春月報 35巻4号 ～ 36巻3号 (平26・27)
 金春月報編集集部
 轉り 97 ～ 99号 (平26・27)
 近松応援団
 サントリー美術館ニューズ 250 ～ 254号 (平26・27)
 サントリー美術館
 紫明の会
 紫明 33・34号 (平26)
 せんだい市史通信 32 ～ 35号 (平26・27)
 仙台市博物館市史編さん室
 岩田書院
 鎮仙 635 ～ 645号 (平26・27)
 鎮仙会
 東海能楽研究会年報 18号 (平26)
 東海能楽研究会
 名古屋芸能文化 24号 (平27)
 名古屋芸能文化会
 日本研究 49・50集 (平26)
 京都観世会
 能 671 ～ 683号 (平26・27)
 能楽タイムズ 746 ～ 757号 (平26・27)
 能楽の友 567 ～ 579号 (平26・27)
 能楽連盟報 97・98号 (平26)
 新潟県能楽連盟
 能スケジュール 606 ～ 610号 (平26・27)
 観世会
 能と狂言 12号 (平26)
 能楽学会
 横浜能楽堂
 橋がかり4月 ～ 3月 (平26・27)
 書陵部紀要 65号 (陵墓編) (平26)
 宮内庁書陵部
- 廣田鑑賞会能 23回 (平26)
 大和座通信 119号 (平27)
 鎮仙会予定番組 2015年 (平26)
 東京文化財研究所概要 2014 (平26)
 柳川古文書館購入文書目録 I (平26)
 柳川古文書館年報 平成25年度 (平26)
 月刊茶道誌「淡交」 6月号 (平26)
 高精細画像による文化財研究 3号 (平26)
 関西学院大学博物館開設準備室
 展覧会『聖なる光に照らされて 聖書から生まれた美』図録 (平26)
 関西学院大学博物館
- 廣田鑑賞会
 大和座狂言事務所
 鎮仙会
 東京文化財研究所
 柳川古文書館
 柳川古文書館
 淡交社
- 〈大学紀要〉
 愛知淑徳大学国語国文 38号 (平27)
 愛知淑徳大学国文学会
 青山語文 44号 (平26)
 青山学院大学日本文学会
 朝日大学一般教育紀要 39号 (平26)
 朝日大学教養教育委員会研究成果専門部会
 文学史研究 54号 (平26)
 大阪市立大学国語国文学研究室文学史研究会
 語文 102・103輯 (平26)
 大阪大学国語国文学会
 待兼山論叢 48号 (平26)
 大阪大学大学院文学研究科
 上方文化研究センター研究年報 15号 (平26)
 大阪府立大学上方文化研究センター

- 百舌鳥国文 25号(平26) 大阪府立大学日本言語文化学会
言語文化科学研究 日本語日本文学編 9号(平26)
大阪府立大学人間社会学部言語文化学科
文藝論叢 82・83号(平26) 大谷大學文藝學會
岡大國文論稿 42号(平26)
- 岡山大学文学部言語国語国文学会
国語国文学会誌 58号(平27) 学習院大学国語国文学会
国語国文 39号(平26) 金沢大学国語国文学会
国文学 99号(平27) 関西大学国文学会
斯道文庫論集 49輯(平27)
- 慶應義塾大学付属研究所斯道文庫
Journal of the Faculty of Letters (JOL) No.3(平26)
神戸松蔭女子学院大学学術研究会
神戸女子大学古典芸能研究センター紀要 8号(平26)
神戸女子大学古典芸能研究センター
日本文学論究 74冊(平27) 國學院大學國文學會
駒澤國文 51号(平26) 駒澤大学文学部国文学研究室
実践国文学 86・87号(平26・27) 実践国文学会
実践女子大学文学部紀要 56集(平26) 実践女子大学
別冊 年報XIV 33号(平26) 実践女子大学文芸資料研究所
人文学報 492号(平26) 首都大学東京人文学部研究科
国文学科紀要 32号(平27) 上智大学国文学科
国文学論集 48号(平27) 上智大学国文学会
日本文学紀要学苑 891号(平27)
- 成蹊國文 47号(平26) 昭和女子大学近代文化研究所
近松研究所紀要25号(平27) 成蹊大学文学部日本文学科
中央大学国文 58号(平27) 園田学園女子大学近松研究所
山邊道 55号(平26) 中央大学国文学会
天理大学国語国文学会
湘南文学 48号(平26) 東海大学日本文学会
同志社国文学 80・81号(平26) 同志社大学国文学会
仏教文化研究所紀要 31・32・33号(平24・25・26)
- 同朋大学佛教文化研究所
文学論藻 89号(平27) 東洋大学文学部日本文学文化学科
比較文化研究所年報 30号(平26)
徳島文理大学比較文化研究所年報編集委員会
文学論叢 31号(平26) 徳島文理大学文学論叢編集委員会
二松 28集(平26) 二松學舎大学大学院文学研究科
二松學舎大学論集 57号(平26) 二松學舎大学文学部
東アジア学術総合研究所集刊 44集(平26)
- 二松學舎大学東アジア学術総合研究所
国文目白 54号(平27) 日本女子大学国語国文学会
演劇創造 Vol.43(平23) 日本大学芸術学部演劇学科
Performing Arts Studies/舞台芸術研究 18・19号
(平25・26) 日本大学芸術学部演劇学科
文学部論集 99号(平27) 佛教大学文学部
仏教学部論集 99号(平27) 佛教大学仏教学部
歴史学部論集 5号(平27) 佛教大学歴史学部

- 文教大学国文 43号(平26) 文教大学国文学会
 国語国文学 55号(平25) 別府大学国語国文学会
 法政大学史資料集 35集(平26) 法政大学
 HJAS Hosei The Newsletter No.20・21(平26・27)
 国際日本学 12集(平27) 法政大学国際日本学研究所
 日本文学誌要 90・91号(平26・27) 法政大学国際日本学研究所
 法政史学 81・82号(平26) 法政大学国文学会
 大学院紀要 72・73・74号(平26・27) 法政大学史学会
 研究と評論 No.79・80(平26・27) 法政大学大学院
 文学部紀要 68・69・70号(平26・27) 法政大学第二中・高等学校
 法政大学資格課程年報 Vol.3(平26) 法政大学資格課程
 国語国文研究 145号(平26) 北海道大学国語国文学会
 日本文学ノート 49号(平26) 宮城学院女子大学日本文学会
 能楽資料センター紀要 No.25(平26) 武蔵野大学能楽資料センター
 日本文学 112・113号(平26・27) 立教大学日本文学会
 アートリサーチ Vol.15(平27) 立命館大学アートリサーチセンター
 龍谷大學國文學會
 國文學論叢 60輯(平27)
 東西南北 和光大学総合文化研究所年報 2014・2015
 (平26・27) 和光大学総合文化研究所
 演劇映像 55号(平26) 早稲田大学演劇映像学会
- 国文学研究 172・173・174集(平26)
 News Letter No.5(平27) 早稲田大学国文学会
 早稲田大学演劇博物館